

# 2010 子ども交流合宿

プログラムは参加自由です。  
当日申し込み制のものもあります。  
どれにも参加しないこともできます。

1日目：8/21(土)

昼

受付・開場 (12:00~13:00)

- オープニング (大人合同)
- 居場所・フリースクール紹介

- 自然の中で遊ぶ ●三角ベースボール
- 子どもベガス ●お菓子の家作り
- 子ども持込み企画 ●まったりスペース

夕

◎夕食タイム

- 子どもベガスII ●子ども持込み企画
- 子どもしゃべり場
- まったりスペース

2日目：8/22(日)

朝

起床・朝食 (7:00~)

- 裏磐梯で遊ぶ (湖で一日遊びします)
- ソフトボール&フットサル
- ライブカフェ ●まったりスペース
- もの作り体験/子ども持込み企画

昼

◎昼食タイム \*昼食は別料金となります。

- BIGスゴロクゲーム
- 子ども持込み企画 (一般公募)
- まったりスペース
- エンディング (大人合同) 16:00~16:30

☆イベントプログラムは、子ども実行委員会が企画しています。  
\*実費負担をしていただく企画もあります。  
\*企画内容は変更する場合があります。  
☆詳しくは「子ども交流合宿」のチラシをご参照ください。

## お申し込み方法

### 参加費用

**大人** 19,500円【1泊2日宿泊(21日夕食、22日朝食込み)】→(21日の懇親会費、22日の昼食代は含まれていません)  
(20才以上) [日帰り] 参加費/21日(土):3,000円 21日懇親会:3,000円  
22日(日):3,000円 22日昼食:1,365円

**子ども** 中学生以上:18,500円【1泊2日宿泊(21日夕食、22日朝食込み)・保険料】  
小学生以下:18,000円【1泊2日宿泊(21日夕食、22日朝食込み)・保険料】  
(20才未満およびフリースクール会員) [日帰り] 参加費/21日(土):3,000円  
22日(日):3,000円 22日昼食:1,365円

親子で両方宿泊参加の方は、  
1家族1,000円を割引します。

### 申し込み締め切り：7月7日(水)

キャンセルについては7月23日(金)までは一部返金可能です。  
それ以降は原則的に返金できませんのでご了承ください。

### 申し込み方法

1. 所定の郵便振替用紙に  
①参加者氏名 ②年齢 ③性別 ④所属(会・フリースクールなどの所属のある方) ⑤宿泊の有無 ⑥「講演A・B・C」「分科会」参加希望番号/子ども参加プログラム ⑦22日(日)昼食(弁当)の希望 ⑧懇親会 をご記入し、合計金額をお振り込みください。

### 2. お子さん、知人と同室をご希望の方は余白にお書き下さい。

(お部屋は和室相部屋となります。個室はありませんのでご了承ください)

### 3. 振替払込受領証をもって領収書とします。

当日、受付までご持参下さい。

\*世話人の皆さんで、前日からの世話人交流合宿に参加される方は、後日お送りする「世話人合宿案内」をご覧ください。

どちらかに○をして下さい		【振込用紙の裏面の記入例】					いずれかかに○をして下さい				
大人	子ども	氏名(ふりがな)	年齢	性別	所属	宿泊	21日 日帰り	22日 日帰り	1日目の講演 分科会参加希望番号 子ども参加プログラム	22日 昼食 (お弁当)	懇親会
○		やまだ はなこ 山田花子	47	女	〇〇親の会	○			A、2	○	○
	○	やまだ たろう 山田太郎	15	男	〇〇〇〇 フリースクール	○			A、C、F	○	

### ◇郵便振替

- ・口座番号：00110-7-671720
- ・加入者名：NPO法人 全国ネットワーク

\*振り込み先は大人・子ども共通です。

★インターネットバンキングをご利用希望の方は、一度メールでお問い合わせ下さい。(info@futoko-net.org)

NPO法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク NPO総会のご案内  
当団体は会員募集中です。会員の方ばかりでなく、ネットワークの趣旨に賛同していただける方もお集まりください。

8/21(土) 午前11時より  
会場：ホテル 華の湯 会議室

2010

# 登校拒否・不登校を考える 夏の全国合宿2010 in 福島

主催/NPO法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク  
NPO法人 フリースクール全国ネットワーク  
福島不登校を考える共有ネットワーク  
後援/福島県教育委員会 (申請中)

とき：8月21日(土)・22日(日)

ところ：磐梯熱海 ホテル華の湯

〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5-8-60  
TEL.024-984-2222

■主催者ホームページ

<http://www.futoko-net.org>

私たちの全国ネットワークが生まれて21年になります。不登校が理解されず苦しい気持ちの子どもや親が多く、親の会や居場所づくりが広がり、つながりあって力にしてきました。毎年夏になるとこの合宿で出会っては、おしゃべりしたり、経験を交換したり、共に過ごす時間がとても楽しみです。

今年も、福島県で開催をお引き受けくださり、素晴らしい自然とおいしい温泉地で、ゆっくりといいい2日間が送れそうで、現地の皆さんにとっても感謝しています。

不登校で不安な方も情報やお友達が欲しい方も、多彩な講師陣と当事者の語りに触れ、きっと充実感を得ていただける事でしょう。不登校を通して自分らしく成長していった多くの人たちにも出会える事でしょう。

親の会関係とフリースクール関係の2つの全国ネットワークが力を合わせて開催するため、大人のプログラムも子どものプログラムも両方あり、ご家族でご参加いただけます。

どうぞ、お誘いあわせて、どなたも気軽にお越しください。

NPO法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事 奥地圭子

「よらんしょこらんしょいいざかへ」こんな呼びかけで全国の皆さんを福島へお招きしたのは97年の夏のことでした。あれから13年目の夏、福島で2度目の夏合宿です。あの日、子どもシンポジウムで語ってくれた子どもたちは青年になり、父や母にもなりました。まだ若い親だった私たちは、毎夏の合宿での出会いから勇気と希望をいただき、「登校拒否・不登校」を人生のテーマとして、「生きる」ことの意味を問い続けています。定点観測を続けながらテーマをもって社会を見定めていると、当座の都合によって社会の価値が変動しているのがよく見えてきます。私たちが本当に守るべきものは何なのか、会津にほど近い山間の温泉地、磐梯熱海の「萩姫の湯」につかりながら肩の力を抜いて語りあいましょう。

大岡桂子

## プログラム全体案内

♪子どもプログラムは別項をご覧ください♪

8月21日(土)	
12:00	開場・受付
13:00	オープニング(大人・子ども合同)
13:10	居場所・フリースクール紹介
13:30	子どもシンポジウム 「聞いてよ、僕らの気持ち」
15:20	講演 講演A：内田良子さん(カウンセラー) 講演B：高岡 健さん(精神科) 講演C：多田 元さん(弁護士)
17:30	— 休憩・夕食 —
19:15	親シンポジウム「子どもの気持ちを受け止めて」
21:00	懇親会*
8月22日(日)	
9:00	テーマ別分科会
11:45	— 昼食* —
12:50	講演 講師：芹沢俊介さん 「肯定的な存在論的な引きこもり論へ」
14:30	若者シンポジウム「生き方を語る」
16:00	エンディング(大人・子ども合同)

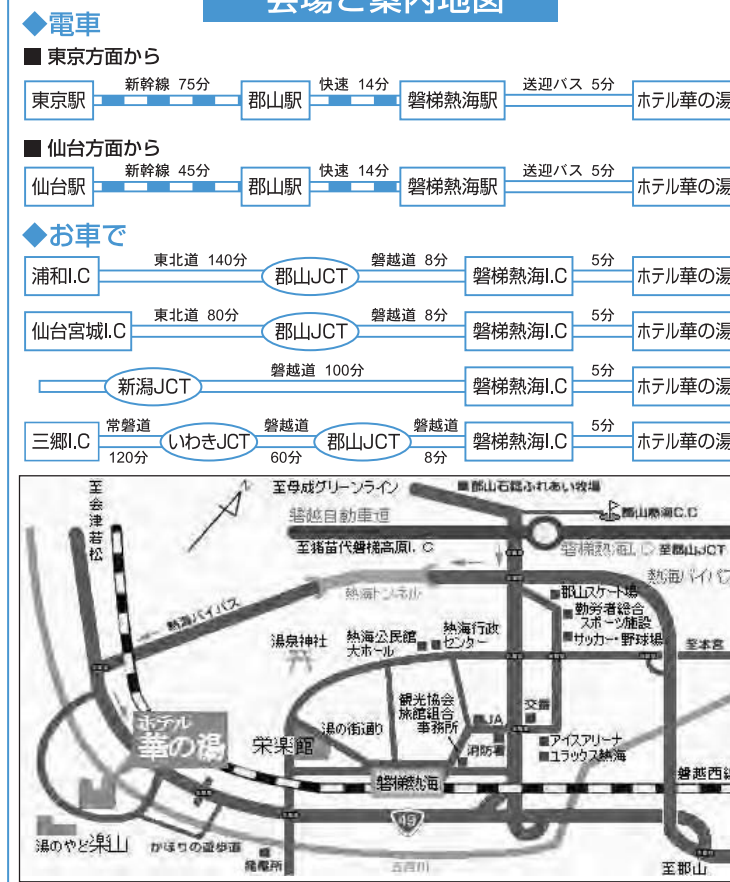
\*は別料金となります。

### ■お問い合わせ・申込先

NPO法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク

〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19 TEL/FAX.03-3906-5614 <http://www.futoko-net.org>

## 会場ご案内地図





## 主なプログラムの内容

# 8月21日(土) 1日目

1. オープニング・あいさつ (大人・子ども合同) ..... 13:00~13:10
2. 居場所・フリースクール紹介 ..... 13:10~13:30
3. 子どもシンポジウム「聞いてよ、僕らの気持ち」 ..... 13:30~15:00  
不登校を理解するには子どもの気持ちを知ることが一番。子どもたちの生の声を聞き、学びあひましよう。また、昨年の第20回大会で採択された「不登校の子どもの権利宣言」についても子どもたち自身の話から、大人のあり方を考えあひましよう。

### お知らせ・移動

4. 講演 ..... 15:30~17:20  
各分野で活躍の内田良子さん、高岡健さん、多田元さんが、それぞれの立場からお話しいただく時間をとりました。「不登校になったとき」「発達障がい」「自己肯定感」どれも聞きたいテーマと思いますが、どれか1つを選んでいただき、そのテーマを掘り下げていきましょう。

#### A わが子が不登校になったとき —カウンセリングから見えるもの— 内田良子さん

〈プロフィール〉  
心理カウンセラー。子どもの相談室「モモの部屋」主宰。東京都内保健所心理相談員。NHKラジオ「子どもの心の相談」アドバイザー。



#### B 発達障がいと不登校 —医療の現場から見えること— 高岡健さん

〈プロフィール〉  
精神科医、日本児童青年精神医学会理事、岐阜大学医学部精神病学分野助教授。著書に「引きこもりを恐れず」(ウェイツ)、「新しいうつ病論」(雲母書房)など多数。



#### C 子どもの自己肯定感 —弁護士としてのかかわりから— 多田元さん

〈プロフィール〉  
裁判官を経て弁護士として子ども・少年の事件に多く関わる。「全国不登校新聞社」代表理事のほか、現在「子どもセンターパオ」の代表理事、「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」理事、南山大学法科大学院教授。



### チェックイン・夕食タイム

5. 親シンポジウム「子どもの気持ちを受け止めて」 ..... 19:15~20:45  
どの子にとっても親が一番自分のことをわかってもらいたい存在です。でも子どもの気持ちを受けとめ、向き合うのは簡単ではありません。各地の親の皆さんに登場いただき、体験を聞くと共に、どのような事を大切にしていってらよいかを考えあひましよう。また、各地にある親の会の存在もより知っていただければと思います。
6. 懇親会 (交流会) ..... 21:00~22:30  
全国各地から参加した皆さんと交流し、楽しいひと時をすごしましょう。  
※ 別途申し込みのオプション企画になります。

# 8月22日(日) 2日目

7. テーマ別分科会 ..... 9:00~11:45  
関心のあるテーマを選んでご参加ください。

分科会	内容
1 小学生・中学生の不登校	義務教育期間の不登校では、進級・卒業、評価、行事参加、別室登校など在校学校とのつきあい方に迷ったり悩んだりすることがあります。また学力や社会性への不安や、昼夜逆転、ゲーム・テレビ漬の生活なども気になることでしょう。家での過ごし方や、お子さんへの接し方なども含め、考えあひましよう。
2 高校生・大学生の不登校	義務教育期間後、高校や大学で不登校ごみの場合、転校、進級、卒業など学校との関係をどのように考えたらよいのでしょうか。また、高校・サポート校・通信制高校などに進学したけれど、そこへ行かなくなったり、中退してしまった時どうしたらよいのでしょうか。それらの事を一緒に考えあひましよう。
3 不登校と進路	不登校経験者は進路をどう考えたらよいのでしょうか。どうしたら進学できるかなど、いろんな例を知りたいという人もいらっしゃると思います。また、アルバイト、フリーター、就職など社会で働くことも気になります。高卒認定試験制度やフリースクール出席認定、在宅での出席認定についても共有しましょう。

分科会	内容
4 引きこもり・閉じこもり	今、格差社会や貧困の問題が広がる中で、若い人たちが社会とつながっていくことがやりにくくなっています。ニートや派遣社員についても取り上げながら、引きこもりについて個人の視点だけでなく、社会構造や周囲の理解も含め考えあひましよう。
5 医療・相談機関とのかかわり	医療・相談機関にかかる人が増えている時代です。なかには、子どもが望まない強引な入院も行われています。薬を飲めば楽になる面はあっても、飲み続けるのも心配。いったい、医療や相談の機関とどのように付き合っていけばよいのでしょうか。森英俊さんを迎え、ともに考えあひましよう。
6 「障がい」・「発達障がい」と不登校	「障がい」「発達障がい」という言葉をどのように捉えていったらよいのでしょうか。また、「障がい」と関連した不登校をどのように考え、子どもと対応していったらよいのでしょうか。今行われている特別支援教育なども含め、高岡健さんと共に考えあひましよう。
7 居場所・フリースクール	多様な教育を考えていく上で、居場所・フリースクールは欠かせません。また、公教育のフリースクールも生まれています。フリースクールのようす、ぶつかっている課題、その他社会の中でどのような役割が担っていきけるのか、どんな法律やしくみがあればよいのかなどについても語り合ひましよう。
8 ホームスクーリング・ホームエデュケーション	子どもは家庭でじゅうぶん育つ！ 家庭を拠点に育つ在り方は、外国では広く行われています。家にいることを成長のプラスに捉えていくホームスクーリング、ホームエデュケーションについて、他の家族ではどうやっているのか、生きた学び合ひをしましょう。
9 きつい状態の時のかかわり方	家庭内暴力・強迫神経症・拒食過食・退行現象・リストカットなど子どもが苦しいときには、いろいろきつい状態が出ます。そんな時の子どもの苦しさを共有し、親は子どもとどうかかわったらいいのか考えあひましよう。内田良子さんが共に考えあひましてください。
10 「非行」や事件と自己肯定感	家族を殺したり、不特定の人への傷害事件もおきたりしています。なぜ少年はそこまで追いつめられるのでしょうか。また、反社会的行動といわれる行動にぶつかった時は、親もどうしていいかわからないと悩みます。弁護士の多田元さんと共に考えあひまってみましょう。前日の講演「自己肯定感」を深めたい人もどうぞご参加下さい。
11 不登校と家族	お子さんが不登校になるとその子と他の家族との関係が今までと違い、ギクシャクすることがあります。おじいちゃん、おばあちゃんとの関係や学校に行っている兄弟との関係など、親としてどうしたらよいか悩むことがあると思います。そういった悩みを一緒に考えていきましょう。
12 当事者交流サロン	当事者ならではの経験・気持ち・苦しみや悩み、楽しく過ごすコツなど語り合うことがいろいろあると思います。まずは聞きにきてみて下さい。20代・30代の青年どうして、心おきなく交流しあひましよう。 ◎親・相談員などの大人の方々はご遠慮ください。

#### 分科会 助言者

森 英俊さん  
小児科医師



高岡 健さん  
精神科医



内田良子さん  
心理カウンセラー



多田 元さん  
弁護士



奥地圭子さん  
当ネットワーク代表理事



### 昼食タイム

8. 講演 講師：芹沢俊介さん「肯定的な存在論的引きこもり論へ」 ..... 12:50~14:20



引きこもりをしている若者を集団生活の中に無理やり放り込んだり、引きこもりを一応容認しつつも、行動療法的に「社会適応」へと誘導する取り組みなどが多く見られます。体験している若者たちの声を聞けば、このような対応の限界がはっきり見て取れます。若者たちが引きこもる理由、若者たちの存在が傷ついたということに注目することが必要です。防御し、再度自らの社会関係を構築しなおすことが引きこもることの意味だと語られています。昨年の合宿で好評だった議論をさらに一歩すすめて、否定的な社会的引きこもり論から肯定的な存在論的引きこもり論への転換をお話いただきます。

〈プロフィール〉  
社会問題を中心に、子ども、家族、教育に関する評論活動をおこなっている。その鋭い評論には定評があり、著書も多数。独自の理論の展開と深い解釈は、不登校、引きこもりを経験した当事者の支持も多い。

9. 若者シンポジウム「生き方を語る」 ..... 14:30~16:00  
今、若い人たちにとって必ずしも生きやすいとは言えない社会の中で、不登校や引きこもりを経験して育った若者達は何を感じ、どのように生き方を作っているのでしょうか。話を聞きながら、一緒に学び合ひ、若者たちの生き方が訴えているものを考えあひましよう。さまざまな生き方にふれ、安心もしていただければと思います。
10. エンディング (大人・子ども合同) ..... 16:00~16:30